

研究課題名	造血器腫瘍の多段階発がん過程の解析と腫瘍細胞バンクの整備
研究責任者名	原爆放射線医科学研究所 がん分子病態研究分野 教授 稲葉 俊哉
研究期間	平成 21 年 10 月 19 日(倫理委員会承認後) ~
対象者	1989 年から 1999 年の間に広島大学医学部附属病院およびその関連病院などを受診した造血器悪性腫瘍患者さん。
意義・目的	難治性造血器腫瘍の新規治療法開発をめざして、原因遺伝子の単離やその発現制御機構を明らかにする。こうした研究を本学のみならず、全国の研究者にも共同利用・共同研究拠点として参画してもらえよう、本試料をバンクとして整備する。
方法	本研究は、ヒトゲノム・遺伝子解析研究です。保存されている白血病など造血器腫瘍細胞と、診療録（カルテ）情報（年齢、性別、検体受付年月日、診断名、染色体所見等）を用いて行います。 バンクの整備が完了した後は、匿名化された試料のリストを公表し、使用申請があれば、共同利用・共同研究拠点の研究課題審査部会で審査し、承認された課題に提供する。生体試料を直接取り扱う研究実施場所は広島大学原爆放射線医科学研究所内に限定する。
共同研究機関	なし
試料・情報の管理責任者	原爆放射線医科学研究所 がん分子病態研究分野 教授 稲葉 俊哉
個人情報保護について	本研究は広島大学ヒトゲノム・遺伝子解析研究倫理審査委員会で審査を受けて承認をされています。研究は、プライバシー保護に十分留意して行います。情報が個人を特定する形で公表されたり、第三者に知られたりするなどのご迷惑をお掛けすることはありませんのでご安心ください。 追記：対応表を作成しない匿名化のため、情報公開での対応とさせていただきます。
問合せ・苦情等の窓口	〒734-8553 広島市南区霞 1-2-3 広島大学 原爆放射線医科学研究所 がん分子病態研究分野 教授 稲葉 俊哉 T e l : 082-257-5835